

小学校給食における賞味期限切れ牛乳の提供について

2022年5月6日（金）に、町田第二小学校及び鶴川第一小学校の給食において、児童に賞味期限切れの牛乳を提供してしまいました。すでに、保護者には謝罪し、今後はこれまで以上に賞味期限の確認を徹底する等の説明をしております。

児童、保護者の皆様に深くお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めてまいります。今回の概要及び再発防止策等を以下のとおり報告いたします。

1 概要

(1) 町田第二小学校

- ①賞味期限切れ牛乳提供数： 124本（2022年5月5日（木）賞味期限）
5・6年生全児童
- ②飲用児童数： 13人（全員5年生）
- ③飲用後の対応： 飲用児童の健康状態を養護教諭等が確認し、異常は認められなかったため、帰宅させました。提供した児童の保護者には、当日中に文書にて経緯の説明及び謝罪を行い、帰宅後も健康状態に異常が認められた場合は、学校へ報告していただくよう依頼しました。その後、健康異常を訴える児童の報告はありませんでした。

(2) 鶴川第一小学校

- ①賞味期限切れ牛乳提供数： 29本（2022年5月5日（木）賞味期限）6年生1クラス
- ②飲用児童数： 18人（全員6年生）
- ③飲用後の対応： 飲用児童の健康状態を養護教諭等が確認し、異常は認められなかったため、帰宅させました。提供した児童の保護者には、当日中に文書にて経緯の説明及び謝罪を行い、帰宅後も健康状態に異常が認められた場合は、学校へ報告していただくよう依頼しました。その後、健康異常を訴える児童の報告はありませんでした。

2 発生原因

牛乳の発注は、翌月分をまとめて前月の二十日頃に行い、飲用予定日の前日に納品されます。学級閉鎖や急きょ休みが発生するなど、正確な本数の発注は難しく、日々余剰が発生します。この余剰分については、冷蔵庫に保管し、翌日などに提供する運用を行っていました。今回、4月28日（木）納品分の牛乳について、賞味期限が切れていたのにも関わらず、確認ミスにより提供してしまいました。

3 再発防止策

余剰分が極力発生しないよう、発注後の調整を細かく行います。

また、冷蔵庫に格納する際、賞味期限及び提供予定日を大きく表示した箱に入れ、古いものを手前に保管します。納品時及び配膳時に、給食調理員2名以上で賞味期限を確認した上で、提供できないものは廃棄します。